

INTERKYOTO

インターキョウト



(清水寺)

1999.7. No.10

京都情報サービス産業協議会
発行：京情協企画広報部会

情報化社会を生き抜く新思考について

C S K代表取締役副社長 青園氏を講師に迎えて

平成11年度第1回会員交流会を開催



京都情報サービス産業協議会では当会の経営部会主催による会員交流会を平成11年7月9日にハートンホテル京都で「情報化社会を生き抜く新思考」と題して青園雅紘C S K代表取締役副社長を先生に迎え講演会を開催しました。会員35社の内、21社他が参加されました。

藤関部会長（株）ユニシスの司会進行で協議会の植田事務局長（白石協議会会長代理）の歓迎挨拶があり青園氏の熱弁は90分間続きました。

講演では「大きな落差」をキーワードとして3つの観点から言及されました。（1）工業社会と情報社会の落差について企業決算が赤字続きでも株式投資は継続されている実態にあり主観的な個人価値で投資される社会構造変化の予感がする。（2）アメリカと日本のベンチャー経営者の落差についてマネジメント力の格差や日本では技術力を過大評価して見誤っている。アメリカではベンチャービジネスの興隆がIT産業分野に60%と集中している実態である。（3）情報サービス産

業界では業界が求めている人材と係わり合っている人材のスキルに格差があり、このため人材不足の現象が生じていることはまだまだ成長性が高い業界であることを裏付けしていると述べられた。

日本の経営者は戦後50年の歴史の中で「リスク&リターン」の感覚を忘れてしまっている。株式の本質を自らのマインドの中に甦らせるべき、スペキュレーションを保持する必要性などを一言でエクィティマインドの感性を日本の経営者は身に付けるよう熱弁された。

これからの世界的市場を視野に入れたネットワーク経済の重要性はインターネットを媒体に益々社会を現在とは異なる世界に変革していくものと確信されている。

なお、今回の企画は会員であるシーエスケイ京都システムの池田社長に大変なご尽力を頂きました。御礼申し上げます。

青園講師の著書ご紹介

「エクィティマインド」発行所：（株）アスペクト

平成11年度通常総会を開催

— 新年度の事業計画・予算が承認される —



白石会長



京都市
石田課長



小島
副会長

京都情報サービス産業協議会の平成11年度通常総会が4月22日、平安会館白河の間で午後2時30分から開催され

ました。会員35社から24社（33名）が出席し、またご来賓には京都府産業推進課課長補佐家次昭氏、同産業技術係主任岡田宏一氏、京都府中小企業総合センター経営課主幹鷺野信雄氏、同主事仁科豪士氏、また、京都市産業観光局商工部産業振興課課長石田達氏、同振興課係長安井輝夫氏にご臨席いただきました。

初めに白石協議会会長から開会の挨拶があり、議長の選出では白石会長が推薦され承認された後、議案審議が行われました。

第1、2号議案で平成10年度の事業報告と収支決算報告、岩谷監事代理から監査報告が行われ承認されました。第3、4号議案の平成11年度事業計画と事業予算について事務局より詳細の説明と、法人化準備委員会の新年度活動について小室委員長から補足説明がされました。質疑応答があり採決の結果、原案通り満場一致で議案が承認されました。

審議終了後、京都市来賓の石田課長からご挨拶と協議会への激励のお言葉をいただきました。最後に小島協議会副会長による挨拶があり総会を閉会しました。

第二部では総会の併催記念行事として会場を移し、平安の間で協議会副会長のKKC小室社長のご紹介で弁護士、

税理士であり世界を股に掛けた旅行家でもある高橋隆雄先生の講演「地球の果てまで」と題して数々の旅行体験談と海外旅行でのアドバイスを交えた貴重なお話をさせていただきました。

第三部では恒例の懇親会を催し、岩谷協議会監事代理の開会挨拶、ご来賓には京都府商工部の藤岡参事、中小企業総合センターの山下経営課長が合流されご挨拶をいただきました。参加者の交流の輪を築き懇親を深めました。



（高橋先生の講演）

ANIA（全国地域情報産業団体連合会）鳥取大会報告

全国からの大会参加者が過去最高の900名

平成11年度通常総会が鳥取市で6月10日に開催され、通産省、郵政省、自治省、鳥取県知事他の来賓を迎え、県外から229名・大会参加者900名を超える過去最大規模の大会となった。この模様はインターネットでも同時中継されました。なお、今年からANIAの年会費

が改訂されることが決定されています。

京情協からは白石会長と植田事務局長が参加しました。次回は青森県で平成12年6月8、9日に開催される予定です。

委員会・部会の今年度活動方針

法人化準備委員会

(株)ケーケーシー情報システム

委員長 小室 哲



法人化準備委員会の今年度活動は、京都府からいただいている「公益法人設立許可基準」を、十分にクリアしていく作業が基本になります。

許可基準の目的には、「公益（不特定多数の者の利益）の増進に寄与するものであること」と規定されています。第二項以降に、事業、名称、資産、年間の収支予算、会計、役員が続き、最後に類似団体の並立排除となっています。

準備委員会では、こういった基本事項について13社の知恵を借りながら個別に検討を行い、委員をグループ分けして具体的作業を進めていく予定です。

(1) 会員増強

不特定多数の利益を増進するという事になると果たして35社の会員数で、不特定多数を代表する者であるかどうかということが、懸念されることです。会員数を増やすことが当面の課題と考えています。

委員会各社は、1社以上の入会を目標に勧誘を行い、7月10日現在入会希望は4社を数えています。

会員数をどうやって集めるか、どのゾーンの業者の方に会員になっていただければ、会員数としてカウントできるのか名簿の範囲を絞って更なる勧誘を進めません。

(2) 行政機関との認可整合

既に財団法人京都産業情報センターが存在しているといった状況のなかで京情協が、どういう形で展開をすれば、法人の許可が得られるかといったところが最大の要因になってくると思われます。

手続きについては、行政当局の商工部との協議をさらにさらに進めない、具体性が出てこないといったことが大きな問題としてあげられます。

(3) 財政基盤、運営組織基盤の整備

事業、年間収支予算、会計といった事については、検討委員会でもとめていただいた報告書の中におおよその基本形が確認できていますが、より詳細な検討と具体的な作業が必要です。

- ・すぐやる
- ・必ずやる
- ・出来るまでやる

といった積極的な対応で法人化準備委員会を進めてい

経営部会

(株)ユニシス

部会長 藤関治清

平素は会員交流会をはじめ、経営部会の行事にご協力いただきましてありがとうございます。今年度も昨年同様に年4回の経営部会、年2回の会員交流会を開催し、会員相互の深耕を図ってまいります。経営部会では 京都府中小企業総合センターから御招き、景気短期観測調査に協力いたしております。経営部会での各会員の生の声として、この業界の景気短期観測調査報告として、府政に少しでもご理解いただけたらと思っております。各会員相互の経営の共通話題をテーマとして、昨年は人に視点を当て、労務・人事（評価）の問題に取り組み、何らかの成果（自社の状況から他社の状況を知る）を見ることができたのではないのでしょうか。さて今年度のテーマですが今まで2回（5月・6月）の話合いの中で、「我々の企業は、現状では農耕型企業（種をまいて育てる）か、はたまた、狩猟型（既に有るものを取ってきて利用していく）企業か。今後、個々の企業はどうあるべきかを考えているか。」と投げかけられました。そこで今年度はこのテーマについて現状をどのように認識され、今後各企業どのように思っておられるのかについて、意見交換して行く事にいたします。日頃起きている経営諸問題を随時照会し合い、会員間で意見交換いたします。次に、年2回の会員交流会、第1回は7月9日（金）16：00～「情報化社会を生き抜く新・思考 エクイティ・マインド」と題して、CSK代表取締役副社長青園雅紘氏のご講演を企画開催しました。また、会員の皆様で会員交流会のテーマ（経営諸問題）と御講演者を紹介していただければと思っております。今年も経営部会への会員皆様のご協力よろしく願いいたします。



(経営部会会合)

技術部会

島津エス・ディー(株)

部会長 北村 昱

京都情報サービス産業協議会の中で技術部会の目的は、広く情報技術(IT)を対象にして、会員相互間の研鑽と交流に努める事にあると考えています。

技術部会のこれまでの活動実績を振り返ってみますと、毎年数回の会合を持って、その都度取り上げてきたテーマが、最先端技術動向、品質等管理技術向上、先進的企業訪問、人材育成など、いずれも会員の大多数が関心を持つものばかりでありました。

会合の進め方としては、セミナー形式あり、意見交換・討論形式ありで、参加者には常に有意義な結果をご提供してまいりました。

今年度も、活動方針としましてはこのような活動実績の延長・発展を目指す所存です。

そして、活動の具体的計画は8月度の技術部会で決定いたしますが、できるだけ参加者が文字通り「参加した」と実感していただけるような工夫を盛り込みたいと考えています。

会員の皆様には、今年度もまた技術部会の活動にどうかご理解とご協力をたまわりまして、沢山の意見・助言をお寄せ下さいますようお願い申し上げます次第であります。



京情協サロン

「グリーン・サミット」

会員会社代表者の有志参加によるゴルフ大会!!



平成11年5月11日(火)
信楽カントリークラブにて

企画広報部会

オムロンソフトウェア(株)

部会長 奥村 良三

今総会時、会員各社に京都府中小企業総合センタより配付された「京都府情報サービス業界調査」報告によれば、当協議会の「存在を知っている～有効回答89社中37社(41.5%)」「知らない～58.5%」と答えられており、現状、会員以外には殆ど知られていないとの結果がでていました。

当協議会も満5年余りを経過し、規約第2条(目的)「本会は会員相互の強化発展を促進し、もって地域情報産業の振興を図ることによって地域社会、経済社会の発展に寄与することを目的とする。」の定めと調査結果とを照らし合わせれば、その評価は幾多の論と懐柔を醸し出されるものと思われます。これらを踏まえ現在、法人化の準備に向け推進を計られている中総会決議の活動方針に則り、企画広報部会では

(1)「協議会の知名度の向上」

インターネット・ホームページの設置と会報に会員企業のPR頁の特集や親睦会の光景など掲載し広く会員以外の関係先に発信。

(2)「会員相互の交流と啓発の促進」

経営・技術部会、会員交流会の活動紹介とともに親睦を更に醸し出すための「京情協サロン」の開催支援。

(3)また、総会併催行事・情報月間行事を「主体的なオープン行事として開催」へのアプローチ。

などに注力していく予定です。

会員各位のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます

企画広報部会メンバー(敬称略)

アクセス、
アド・プロヴィジョン、
オムロンソフトウェア、
カワイプロ、
京信システムサービス、
近畿リサーチセンター、
システムディ、
システムプロデュース、
中信コンピューターアンドコミュニケーション、
モーダス

おかげさまで
創立15周年

期待に応える・豊かさを分かち合う

『お客様とお互いに豊かさを分かち合う』。それは、当社が最も大切にしていることです。お客様にとって価値ある情報を見つめ、それを共有してお互いの成長につなげたいと考えております。

会社概要

- b 創 立 昭和59年8月7日
- b 資 本 金 11,950万円
- b 社 員 数 75名
- b NEC販売特約店
- b 日本ユニシス販売店

事業内容

- b システムインテグレーションサービス
- b ソフトウェア開発 / 保守サービス
- b パッケージソフトウェア開発販売
- b ネットワーク構築支援サービス
- b ハードウェア販売 / 保守サービス

KSR

けいしんシステムリサーチ株式会社 ホームページ <http://www.ksr-jp.com>

本 社 京都市下京区五条通堀川西入ル
柿本町579 五条堀川ビル2F
TEL.075-341-2641 FAX.075-341-2574

大阪事業所 大阪市北区堂島1-2-5
堂北ダイビル4F
TEL.06-6347-0510 FAX.06-6343-6378

東京事業所 東京都中央区日本橋堀留町2-2-2
大和銀行堀留ビル5F
TEL.03-5623-6101 FAX.03-5623-6102

上尾営業所 埼玉県上尾市緑ヶ丘3-4-22
京神倉庫(株)京神上尾配送センター内
TEL.048-775-9951 FAX.048-775-9957

ユニシス



株式会社ユニシスはコンピュータソフトを生み出す「場」です。

創造していくのは勿論、社員ひとりひとり。

個人の可能性を最大限に活かせる環境づくりをすることが

ユニシスの役割です。

人はちから
人はたから

株式会社ユニシス

本社・京都支店 〒604 8161 京都市中京区烏丸三条下がる 大同生命ビル6 F
TEL 075 - 255 - 6262

FAX 075 - 255 - 6660

大阪支店 〒530 0023 大阪市北区黒崎町3番9号 フォーレスト梅田7 F
TEL 06 - 6485 - 2242

FAX 06 - 6485 - 2243

URL <http://www.uniuni.co.jp>

e-mail office@uniuni.co.jp

お客様に喜ばれ お客様のお役に立つ
『質の高い商品・サービス』を
安定的かつ継続的に提供致します。



システムプロデュース株式会社

京都事業所：〒604-0874

京都市中京区烏丸竹屋町東入清水町381番地
朝日烏丸ビル2階
TEL. 075(255)7130 / FAX. 075(255)7129

本社・大阪事業所：〒540-0037

大阪市中央区内平野町1丁目2番9号
グランドビル大手前4階
TEL. 06(6944)1479 / FAX. 06(6944)7600

業務内容

ロジスティクスソリューション事業
F A、大型配送センター等の物流自動化システムの構築
運輸業の倉庫業務システムの構築

ユースウェア事業

オーダーメイドシステムの構築・導入指導
市販/自社開発パッケージソフトの導入・導入指導

その他

ビジネスプロセスコンサルティング ソフト保守サービス
ソフトウェアヘルプデスク(オープン計) 各種市販ソフトウェアのインストールサービス

オープンソリューション事業

システムインテグレーション
データベース製品及びネットワーク製品の導入・導入指導
グローバルソリューション事業
公共・製造・流通・金融システムの構築

今後の行事予定

■協議会行事のご案内

(1) 会社対抗親善ボーリング大会について

今年からの新企画として、各社会員同士の幅広い年齢層を対象に、親睦をはかるための行事として計画しました。応援団の方も是非ご参加ください。

日時：8月25日 午後7時から

場所：山科 MKボウル

試合方法：1チーム3名の団体戦

「参加のお問い合わせは当協議会事務局まで」

(2) 秋期総会開催と情報化月間行事について

当協議会の秋期総会の開催は10月14日(木)に決定しました。会員の皆様はご予約をお願いします。

また、同日に協議会主催による公開講演会を企画し、ビル・トッテン氏(株)アシスト)の講演を予定しています。



協議会役員交代のお知らせ

今年の各社様の株主総会による人事異動により
副会長 (株)京信システムサービス
小島彌太郎氏が退任され、間淵和正氏が代表取締役社長に就任されました。

監事 オムロンソフトウェア(株)

諸岡透氏が退任され、佐野登氏が代表取締役社長に就任されました。

何れも規定により当協議会の役員残存期間は引継ぎさせていただきます。

編集 後記

会報誌をインターキョウトに改称、刷新して2年目になりました。広報誌編集では会員の皆様に親しまれやすい内容に心がけて編集に努めています。

今年の新企画では京情協サロン行事として、5月には「グリーン・サミット」が開催され、8月には「会員対抗ボーリング大会」を企画し活動に益々、若い息吹を注入して協議会組織の法人化推進にも弾みを付けていきたいものです。企画広報部では会員の皆さんの斬新で闊達なご意見投稿をお待ちしています。

(待ち人來たらず)